令和6年度シラバス

青翔開智高等学校

第2学年

もくじ

論理国語	2
古典探究	3
地理探究	4
日本史探究	5
世界史探究	6
数学Ⅱ	7
数学B	8
物理	9
生物	10
基礎研究	11
化学基礎(化学選択者)	12
化学基礎(表現選択者)	13
化学	14
体育(男女)	15
体育(男子)	16
体育(女子)	17
保健	18
英語コミュニケーションⅡ	19
言葉と表現	20
探究V	21
家庭基礎	22

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年共通	国語	論理国語	2	必修	ホームルーム

科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動をとおして、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わるうとする態度を養う。						
評価の観点	知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	思考・判断・表現 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に 考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高 め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる ようにする。	主体的に学習に取り組む態度 言葉がもつ価値への認識を深めるともに、生涯にわたっ て読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担 い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関 わろうとする態度を養う。				
評価の方法	ペーパーテスト・小テストなど	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・成果物の作成など	ノート等の記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など				
教科書·教材	筑摩書房『論国710 論理国語』・筑摩書房『論理国語 学習課題ノート』・桐原書店『セレクト漢字検定 5級~2級』						

	年間学習計画		
学期	学習內容	時数	主な評価方法
	・ガイダンス	1	
	・「物語るという欲望」【読むこと・ア】	7	ペーパーテスト①
	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。		
	・探究スキルラーニング「対話的読書」(図書館利用)【読むこと-ウ】	8	探究スキルラーニングで評価する成果物等
1学期	主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性を呼味して内容を解釈する。		
	・「地図の想像力」【読むこと・エ】	6	ペーパーテスト②
	文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。		
	・問題演習	4	
	選択式の問題を解く方法を学ぶ。		
	・「人新世における人間」【読むこと・オ】	7	ペーパーテスト③
	関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。		
	•問題演習	2	
	記述式問題の解答方法を学ぶ。		
	・「異時代人の目」【読むこと-カ】	7	ペーパーテスト④
- 335 440	人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深める。		
2学期	・「生物の作る環境」【読むこと・キ】	6	ペーパーテスト⑤
	設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりする。		
	・探究スキルラーニング「レポートを書こう」【書くこと・オ】(図書館利用)	6	探究スキルラーニングで評価する成果物等
	個々の文章の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫する。		
	- 問題演習	2	
	選択式・記述式の問題の解答方法を学ぶ。		
	・問題演習	2	
	資料が複数存在する問題の解答方法を学ぶ。		
	・「桜が創った『日本』」【書くこと-イ】	5	ペーパーテスト⑥
3学期	設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりする。		
	・探究スキルラーニング「論証と問い」【書くこと-エ】	5	探究スキルラーニングで評価する成果物等
	多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして主張を明確にすること。		
	・問題演習 実際の入試問題に触れ、実践的な解答方法を学ぶ。	2	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年共通	国語	古典探究	2	必修	習熟度

科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝えらう力を高め、思考力や想像と伸ばす。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。						
評価の観点	知職・技能 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	思考力・判断力・表現力 「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	主体的に学習に取り組む態度 言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとしている。				
評価の方法	ペーパーテスト	ペーパーテスト	ノート等の記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など				
教科書·教材	『古典探究(古文編)』(筑摩書房)、『古典探究(漢文編)』(筑摩書房)、『古典探究 課題 /ート] (筑摩書房)、『読解を大切にする体系古典文法 読解を大切にする体系古典文法ワーク』(数研出版)、『みるみる免える古文単語300・30』(いいずな書店)、『体系漢文 体系漢文法演習』(数研出版)						

	年間学習計画		
学期	学習内容	時数	主な評価方法
	・ガイダンス	1	
	- 『宇治拾遺物語』【読む】	6	小テスト①【知・技】
	語の識別、辞書学習、古典常識の復習及び定着の確認・場面の展開を把握する		ペーパーテスト①【思・判・表】
	 探究スキルラーニング「平安文化を知ろう」【話す・聞く】	6	成果物
	平安文化に関する本の内容をまとめ発表する		
学期	・故事成語【読む】	6	小テスト②【知・技】
	故事成語の由来と意味を理解する・寓意を含む表現について作者の意図を正確に読み取る		ペーパーテスト②【思・判・表】
	-『伊勢物語』【読む】	7	小テスト③【知・技】
	和歌の修辞法を理解する・和歌と地の文章の関係について理解する		ペーパーテスト③【思・判・表】
	- 問題演習 [1]	3	
	・史伝[読む]	6	小テスト④【知・技】
	再読文字や読解に必要な疑問、使役、受身を中心とした句法を習得する		ペーパーテスト④【思・判・表】
	-『平家物語』 謡曲【読む】	6	ペーパーテスト⑤
	登場人物の人間関係を正確につかみ、その前提となる敬語の用法を習得する	3	
	- 『論語』人の性【読む】	5	小テスト⑤【知・技】
学期	儒家の思想を理解し、自らの思考を深める		
	探究スキルラーニング	5	
	演習	2	
	・『大鏡』[読む]	6	小テスト⑥【知・技】
	歴史物語の特色を理解する・文法事項を総復習する		ペーパーテスト⑥【思・判・表】
学期	- 漢詩[読む]	4	小テスト⑦【知・技】
	近体詩の形式や特色について理解する		
	探究スキルラーニング 言葉の引用による効果	3	
	•演習	1	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年共通	地理·歷史	地理探究	2	選択	選択

科目の目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な 国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。					
	知識•技能	思考•判断•表現	主体的に学習に取り組む態度			
評価の観点	地理に関わる諸事象に関して、規則性・傾向性を分析し、 地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理 情報ンステムなどを用い、様々な情報を適切かつ効果的 に調べまとめる技術を身につける。	地理に関わる諸事象に関して、「位置や分布」「場所」「人間と自然環境との相互依存関係」「空間的相互依存作用」「地域」の五つの観点に着目して多面的・多角的に考察したうえで、地理的な課題の解決に向けて構想し、それらを基に議論する力を身につける。	地理に関わる諸事象に関して、課題を主体的に追究・解決しようとする態度とともに、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する態度を身につける。			
評価の方法 ペーパーテスト・成果物など ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グルーブ活動・作品 クラスルームへの投稿・授業中の3 密・生徒による自己評価/相互評価						
教科書·教材	二宮書店『地理探究』、帝国書院『新詳高等地図』、二宮書店『データブック オブ・ザ・ワールド 2024』 帝国書院『新詳地理資料COMPLETE 2024』、二宮書店『地理探究ワークブック』					

	年間学習計画							
学期	学習內容	時数	主な評価方法					
	1-1 地形	10	ペーパーテスト/成果物/学習の記録					
	1-2 気候と生態系	6	ペーパーテスト/成果物/学習の記録					
	1-3 世界各地の自然と生活	4	ペーパーテスト/成果物/学習の記録					
	1-4 日本の自然環境と防災	2	ペーパーテスト/成果物/学習の記録					
1学期								
	探究スキルラーニング「街を歩いて防災マップを作ろう」	6	ペーパーテスト/成果物/学習の記録					
	1-5 地球環境問題	4	ペーパーテスト/成果物/学習の記録					
	2-1 農林水産業	8	ペーパーテスト/成果物/学習の記録					
2学期	2-2 資源・エネルギー	8	ペーパーテスト/成果物/学習の記録					
	2-3 工業	8	ペーパーテスト/成果物/学習の記録					
	2-4 第3次産業	2	ペーパーテスト/成果物/学習の記録					
	3-1 交通·通信	2	ペーパーテスト/成果物/学習の記録					
	探究スキルラーニング「鳥取市内のLRT(新型路面電車)の路線計画を立てよう」	6	ペーパーテスト/成果物/学習の記録					
3学期	3-2 貿易·観光	4	ペーパーテスト/成果物/学習の記録					

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年共通	地理•歷史	日本史探究	2	選択	選択

科目の目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史 的思考力を培 い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
	関心・意欲・態度	思考•判断•表現	技能	知識・理解	
評価の観点	我が国の歴史の発展に対する関心と課題 意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に 主体的に生き国家・社会を形成する日本国 民としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見出し国際環境と関連づけて多面的、多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の歴史の展開についての基本的な 事柄を、国際環境と関連つけて総合的に 理解し、その知識を身につけている。	
評価の方法	クラスルームへの投稿・授業中の発言・教 師による行動観察・生徒による自己評価/ 相互評価等の活用など	ペーパーテスト・成果物など	ペーパーテスト・成果物など	ペーパーテスト・成果物など	
教科書·教材	山川出版社『詳説日本史探究』、山川出版社『詳説日本史図録』				

	年間学習計画		
学期	学習內容	時数	主な評価方法
	ガイダンス	1	
	○日本文化のあけぼの	8	ペーパーテスト/成果物/学習の記録
	探究スキルラーニング「縄文、弥生の幸せを自分の価値観を基準に考える。」	2	成果物
	○古墳とヤマト政権、律令国家の形成	8	ペーパーテスト/成果物/学習の記録
1学期			
	○貴族政治と国風文化	10	成果物
	○中世社会の成立	12	ベーパーテスト/成果物/学習の記録
	探究スキルラーニング「生成AIを用いて偉人のメンターを作ろう」	2	成果物
	○武家社会の成長	10	ベーパーテスト/成果物/学習の記録
2学期			
	○幕藩体制の確立 	15	ペーパーテスト/成果物/学習の記録
	探究スキルラーニング「体制維持に必要な要素とは?」	2	成果物
3学期			
		ļ	
		<u> </u>	

j	対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
	高校2年共通	地理•歷史	世界史探究	2	選択	選択

科目の目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な 国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。				
	知識•技能	思考•判断•表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価の観点	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、比較や相互の関連、現代世界とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察し、効果的に説明し、それらを基に議論する力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うととは、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。		
評価の方法	ペーパーテスト・成果物など	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品 の制作など	クラスルームへの投稿・授業中の発言・教師による行動観察、生徒による自己評価/相互評価等の活用など		
教科書·教材	帝国書院『新詳 世界史探究』、帝国書院『最新世界史図説 タベストリー 二十二訂版』、帝国書院『新詳 世界史探究 演習ノート』、山川出版社『世界史用語集』				

	年間学習計画		
学期	学習內容	時数	主な評価方法
	第1部 世界史へのまなざし		
	1章 地球環境から見る人類の歴史	2	
	2章 日常生活から見る世界の歴史	2	
	第2部 諸地域の歴史的特質の形成		
	序章 古代文明の歴史的特質	6	
1学期	1章 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質	8	ペーパーテスト①
	2章 南アジアと東南アジアの歴史的特質	8	ペーパーテスト②
	探究スキルラーニング「古代ローマと世界帝国」(教科書p.82-83)	2	成果物・発表など
	3章 西アジアと地中海周辺の歴史的特質①	16	ペーパーテスト③
2学期	第3部 諸地域の交流・再編		
	1章 ユーラシア大交流圏の成立	8	ペーパーテスト④
	探究スキルラーニング「銀に見る世界の一体化」(教科書p.156-157)	2	成果物・発表など
	2章 アジア諸地域の成熟とヨーロッパの進出	8	
	3章 主権国家体制の成立と交易の拡大	8	ペーパーテスト⑤
3学期			成果物

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年共通	数学	数学Ⅱ	4	必修	習熟度別

科目の目標	(1) いるいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。(2) 数の総即や式の性質に着目し、等えや不等式が成立立つことなどについて適理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、力程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりすると考う。 (3) 数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。					
評価の観点	知識・技能 基本的な概念や原理・注則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりするための技能を身につける。	思考・判断・表現 日常の事象や社会の事象などを教学的に捉えて問題解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりできるようにする。	主体的に学習に取り組む態度 教学のよさを認識し教学を活用しようとする態度、問題解 決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善たりし ようとする態度や創造性の基礎を養うことについて、全体 を通して質的な向上を目指す。			
評価の方法	単元テスト・小テストなど	単元テスト・小テストなど	提出物・授業中の発言や取り組みなど			
教科書·教材	数研出版数学Ⅱ・チャート式解法と演習数学Ⅱ					

	年間学習計画		
学期	学習內容	時数	主な評価方法
	式と証明	20	
	佐本菜) 上作 本		単元テスト①
1学期	複素数と方程式	20	
			単元テスト②
	図形と方程式	30	
			単元テスト③
	三角関数	26	
2学期			
			単元テスト④
	指数関数と対数関数	14	
			W-=-1@
		30	単元テスト⑤
		 	
3学期			
			単元テスト⑥

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年共通	数学	数学B	2	必修	習熟度別

(1)教列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現、処理したりする技能を身に付けるようにする。 たり、数学的に表現、処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2)離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 (3)数学のようを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。					
知職・技能 数列・統計的な推測における基本的な概念や原理・法則 を体系的に理解し、知識を身につけている。事象を数学 化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したり するための技能を身につける。	思考・判断・表現 数列では、離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学 的に表現し考察できるようにする、統計的な推測では、確 率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推 測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察 できるようにする。	主体的に学習に取り組む態度 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、問題解 決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりし ようとする態度や創造性の基礎を養うことについて、全体 を通して質的な向上を目指す。			
単元テストなど	単元テスト・提出物など	提出物・授業中の発言や取り組みなど			
数研出版 数学B, 新課程 新課程 チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B					
(= ()	2)離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現判的に考察したりする力、目常の事象や社会の事象を社会の事象を 3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く 2)数学のようとおる態度や創造性の基礎を養う。 知識・技能 数列・統計的な推測における基本的な概念や原理・法則 を体系的に理解し、知識を身につけている、事象を数学 化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したり するための技能を身につける。	2)雕散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現、考察する力、確率分布や、標本分布の性質に着目し、母素制的に考衷したりする力、音楽の事象や社会の事象を数学化し、間距を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考。 3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、たりようとする態度や創造性の基礎を養う。 知識・技能			

1998 1998 20		年間学習計画		
製用	25- 1 91		min We-	→ 小歌 年 +>> +
# 元 元 八 企	子别			土化肝恒力法
1		30.71		
1				単元テスト①, ②
選題①。②	1学期			
選題①。②		公本4.67-75-任 湖	14	
連絡に応じた減習 34 確認テスト(D)、② 確認テスト(D)、② (D)		(WCELLET 27-5-) (EDG)		課題①, ②
確認テスト①、② 確認テスト①、②				21020,0
確認テスト①、② 確認テスト①、②				
探究スキルラーニング「金融リテラシー」 探究スキルラーニング「金融リテラシー」		進路に応じた演習	34	
探究スキルラーニング「金融リテラシー」	0 學 報			確認テスト①, ②
1870-1777 3 MARA 7772 J	4 7 M 1			
1870-1777 3 MARA 7772 J				
1870-1777 3 MARA 7772 J				
1870-1777 3 MARA 7772 J				
1870-1777 3 MARA 7772 J				
1870-1777 3 MARA 7772 J				
1870-1777 3 MARA 7772 J				
1870-1777 3 MARA 7772 J				
3学期		探究スキルラーニング「金融リテラシー」		探究スキルラーニング 金融リテラシー
	3学期			
	0 1 79 1			

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年共通	理科	物理	2	選択	選択

科目の目標	・日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高めること。 ・目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てること。 ・物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養うこと。					
	知識・技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度			
評価の観点	・自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則 を理解し、知識を身に付けている。 ・観測・実験を行い、基本操作を習得している。 ・それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物 ・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	・自然の事物・現象の中に問題を見いだしている。 非探守する過程を通して、事象を物理的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	 ・自然の事物・現象に関心や探究心をもち,意欲的にそれらを探究している。 ・科学的態度を身に付けている。 			
評価の観点		1.4.4.8.4.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.	仁動組織 百つ部件 /和て部件がフェッスを割換 みび			
評価の方法	ペーパーテスト・実験レポートなど	実験レポート・TSL成果物など	行動観察・自己評価/相互評価等における記載 など			
	啓林館「物理」、啓林館「KEIRINKANDXシリーズ物理セット」					
教科書·教材						

	年間学習計画							
学期	学習内容	時数	主な評価方法					
1学期	物理概論: TSL『重力加速度 測定コンテスト』 第1部 様々な運動 第1章 物体の運動とつり合い 第1節 平面内の運動 第2節 放物運動 TSL『モンキーハンティング』	10	【知】単元テスト1 【思JTSL成果物 【主】自己調整における記述					
	第3節 剛体のつり合い 【実験】物体の重心を探究する。 TSL『物体の転倒条件』	8	【思】【主】実験レポート1 【思】TSL成果物 【知】単元テスト2					
	第2章 運動量と力積 第1節 運動量の保存 【実験】物体の分裂における運動量保存の法則 第2節 反発係数 【実験】反発係数の測定 TSL『衝突時の反発係数測定によって、最適な車のbumperを探究する(仮)』	14	【知】【思】【主】実験レポート2 【知】【思】TSL成果物 【主】自己調整における記述					
2学期	第1部 第3章 円運動と単振動 TSL『orbital period ~太陽系惑星の美しい秩序~』 第1節 円運動 【実験 間心力と角速度&半径と各速度の量的関係 第2節 慣性力と遠心力 第3節 単振動 【実験】単振り子の当時性 第4章 万有引力 第1節 万有引力 【実験】ケブラーの第三法則を検証する	16	【知】単元テスト3 【思】TSL成果物 【主】自己調整における記述 【思】【主】実験レポート3					
	第1部 第5章 気体分子の運動 第1節 気体の状態方程式 第2節 気体分子の熱運動 第3節 熱力学第1法則 第4節 気体の状態変化と熱・仕事 【実験】ビー王スターリングエンジンの制作	6	【知】単元テスト4					
3学期	第2部 波動 第1章 波の性質 第1節 波の伝わり方 第2節 波の干渉と回折 第3節 波の反射と屈折	8	· 【知】単元テスト5					
	第2部 第2章 音の性質 第1節 音波 第2節 ドップラー効果	8						

j	対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
	高校2年共通	理科	生物	2	選択	選択

科目の目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3)生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。				
評価の観点	知職・技能 ・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解している。 ・科学的に解究やするために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	思考・判断・表現 ・生物や生物現象から問題を見いだしている。 ・見通しをもって観察、実験などを行なっている。 ・得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	主体的に学習に取り組む態度 ・生物や生物現象に主体的に関わりを持とうとしている。 ・見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		
評価の方法	ペーパーテスト・実技(観察・実験・作図など)など	ベーパーテスト・論述・レポート・発表・グルーブ活動・作品 の制作など	実験レポートの記述・TSL の振り返り・ノート等の記述・授 業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/ 相互評価等の活用など		
教科書·教材	高等学校 生物 (啓林館)、KEIRINKANDXシリーズ 生物セット (啓林館)、デジタル生物図録 (数研出版)				

	年間学習計画		
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	第1部 生物の進化 第1章 生物の進化 第1節 生命の起源 第2節 生物界の変遷と地球環境の変化 第2章 有性生殖と遺伝的多様性 第1節 有性生殖 第2節 遺伝子の多様な組み合わせ 第3章 進化のしくみ 第1節 突然変異と進化 第2節 進化の要因	12	授業への取り組み レポート① ペーパーテスト① (第1章~第3章)
	TSL「DNA の抽出 (ブロッコリー)」	4	授業への取り組み・成果物
	第1部 生物の進化 第4章 生物の系統 第1節 生物の分類と系統 第2節 3ドメイン説 第3節 細菌 (バクテリア)ドメイン 第4節 アーキア (古細菌)ドメイン 第5節 真核生物ドメイン 第6節 人類の起源と進化	10	授業への取り組み ペーパーテスト ② (第4章)
	第2部 生命現象と物質 第5章 生命と物質 第1節 物質と細胞 第2節 生命現象とタンパク質 第6章 代謝 第1節 代謝とエネルギー 第2節 呼吸 第3節 光合成	12	授業への取り組み ベーパーテスト ③ (第5章〜第6章)
2学期	TSL「光合成生物のもつ光合成色素には違いがあるか」	4	授業への取り組み・成果物
	第3部 遺伝情報の発現と発生 第1章 遺伝情報の発現と発質 第1節 遺伝情報の複製 第2節 遺伝子の発現 第3節 遺伝子の発現調節 第8章 発生と遺伝子の発現 第1節 動物の配偶子形成と受精 第2節 初期発生の過程 第3節 発生と遺伝子の発現	12	授業への取り組み レポート② ペーパーテスト ④ (第7章~第8章)
	第3部 遺伝情報の発現と発生 第9章 バイオテクノロジー 第1節 遺伝子を扱った技術	6	授業への取り組み レポート ③
3学期	第4部 生物の環境応答 第10章 刺激の受容と反応 第1節 刺激の受容 第2節 神経 第3節 神経系 第4節 効果器	10	授業への取り組み ベーパーテスト ⑤ (第9章〜第10章)

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年共通	理科	基礎研究	2	選択	選択

科目の目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、 のとおり育成することを目指す。	見通しをもって観察,実験を行うことなどを通して,自然の事	事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次	
評価の観点	知職・技能 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	思考・判断・表現 観察,実験などを行い,人間生活と関連付けて科学的に 採完する力を養う。	主体的に学習に取り組む態度 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようと する態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高め る。	
評価の方法	小テスト(知識確認)・実技(観察・実験・作図など)など	レポート・発表・作品物など	授業の振り返り記入・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など	
教科書·教材	啓林館「高等学校物理基礎」、啓林館「KEIRINKANDXシリーズ物理基礎セット」 啓林館「高等学校 生物基礎」、啓林館「KEIRINKANDXシリーズ 生物基礎セット」、電子書籍			

	年間学習計画				
学期	学習內容	時數	主な評価方法		
	ガイダンス	2			
	既習知識の復習とまとめ方のレッスン	2	授業の振り返り等		
	物理基礎・生物基礎のアクティブブックダイアローグ	2			
	身近な科学(知識から見た世界)	4			
学期	身近な科学(世界から見た知識)	6	小テスト① 授業の振り返り等		
	定性と定量、比較と対照について	2	小テスト②		
	実験とレポート	8	レポート・制作物 授業の振り返り等		
	ガイダンス「日常生活に結びつく科学」	2			
	問いづくり	2			
	実験計画の作成	2	レポート・制作物		
	実験	2	授業の振り返り等		
	実験/まとめ	2			
	発表/振り返り	2			
n#-31	これまでを振り返って	2	小テスト③		
朔	模試対策: 出題内容の考察と基礎的知識・計算力の定着(生物・物理を主に)	2	授業の振り返り等		
	宇宙や地球の科学のアクティブブックダイアローグ	2	小テスト④		
	問いづくり	2			
	実験計画の作成	2			
	実験	2	レポート・制作物 授業の振り返り等		
	実験/まとめ	2			
	発表/振り返り	2			
	2編 物質の科学のアクティブブックダイアローグ	2	小テスト⑤		
	問いづくり	2			
	実験計画の作成	2	レポート・制作物 授業の振り返り等		
¥##	実験	2			
3学期	実験/まとめ	2			
	発表/振り返り	2			
	総括	4	自己評価		

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年共通	理科	化学基礎(化学選択者)	2	必修	選択

科目の目標	物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を化学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				
	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価の観点	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り 返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		
評価の方法	ペーパーテスト・実技(観察・実験・作図など)など	ベーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品 の制作など	実験レポートの記述・TSL の振り返り・ノート等の記述・授 業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/ 相互評価等の活用など		
教科書·教材	高等学校 化学基礎 (第一学習社)、セミナー 化学基礎 + 化学 (第一学習社)				

	年間学習計画		
学期	学習内容	時数	主な評価方法
	序章 化学と人間生活	2	授業への取り組み
	第1章 物質の構成 第1節 物質の成分と構成元素 ①物質の成分 ②物質の構成元素 ③状態変化と熱運動 第2節 原子の構造上元素の周期表 ①原子の構造 ②イオン ③元素の相互関係	8	授業への取り組み レポート①
	化学履修中 「第1章 物質の状態_第3節 固体の構造」		ペーパーテスト ① (第1章・第1章 第3節)
1学期	TSL「醤油に含まれる NaCl の量 (食塩含有量 (%)) は、醤油の色の濃さと関係があるか」	5	授業への取り組み 成果物
	第2章 物質の変化 第1節 物質量と化学反応式 即原子量・分子量と式量 ②物質量 ③溶解と濃度 ①化学変化と化学反応式 ⑤化学反応の量的関係 ⑥化学変化における諸法則	16	授業への取り組み ベーパーテスト ② (第2章 第1節)
	第2章 物質の変化 第2節 酸と塩基の反応 ①酸と塩基 ②水素イオン濃度 ③中和と塩 ④中和滴定	16	授業への取り組み
	第2章 物質の変化 第3節 酸化還元反応 ①酸化と還元 ②酸化剤と還元剤の反応 ③酸化還元の量的関係 ④金属のイオン化傾向	16	授業への取り組み ペーパーテスト ③ (第2章 第2 [~] 3節・第 II 章)
2学期	化学履修中 「第 II 章 物質の変化と平衡_第2節 電池・電気分解」		授業への取り組みレポート②
	TSL「反応熱に伴う熱の出入り」	5	授業への取り組み 成果物
	終章 化学が拓く世界 ①水道水について ②食品の保存について ③洗剤について ④リサイクルについて	2	授業への取り組み
	化学履修中 「第1章 物質の状態、第1節 物質の状態変化」		授業への取り組み ペーパーテスト ④ (第 章 第2節・第 章 第1節)
	化学履修中 「第1章 物質の状態 第2節 気体の性質」		授業への取り組み レポート ③
3学期	化学履修中 「第1章 物質の状態_第4節 溶液の性質」		授業への取り組み ペーパーテスト ⑤ (第 I 章 第2節・第 I 章 第4節)
	化学履修中 「第 II 章 物質の変化と平衡_第1節 化学反応と熱・光」		授業への取り組み

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年共通	理科	化学基礎(表現選択者)	2	必修	選択

科目の目標	物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養					
	知識·技能	思考•判断•表現	主体的に学習に取り組む態度			
評価の観点	・日常生活や社会を支える物質の利用とその製造の例を 通して、化学に対する興味・関心を高めること。 ・日常生活や社会において物質が適切に使用されている 例を通して、化学が果たしている役割を理解すること。	・化学的な事物・現象の中に問題を見い出している。 ・探究する過程を通して、事象を化学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	・化学や化学現象に主体的に関わりを持とうとしている。 ・見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
評価の方法	ペーパーテスト・実技(観察・実験・作図など)など	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品 の制作など	ノート等の記述・授業中の発言・教師による行動観察・生 徒による自己評価/相互評価等の活用など			
教科書·教材	高等学校 化学基礎 (第一学習社)、セミナー 化学基礎 (第一学習社)、三訂版 フォトサイエンス化学図録 デジタル版 for iPad					

	年間学習計画		
学期	学習内容	時数	主な評価方法
	第1部 物質の構成 第1章 物質の構成 ① 純物質と混合物 ② 物質との成分 ③ 粒子の熱運動と物質の三態	10	【知】単元テスト① 【思】【主】実験レポート① 授業への取り組み
1学期	第1部 第2章 物質の構成粒子 ① 原子の構造と電子配置 ② イオン ③ 元素の周期表	10	【知】単元テスト② 【思】TSL成果物 授業への取り組み
	第1部 第3章 化学結合 ① イオン結合 ② 共有結合	6	授業への取り組み
	第1部 第3章 化学結合 ③ 金属結合 ④ 物質の分類と融点	6	【知】単元テスト③ 授業への取り組み
2学期	第2部 物質の変化 第1章 物質量と化学反応式 ① 原子量・分子量・式量 ② 物質量(mol) ③ 化学反応式と化学変化の量的関係	14	【知】単元テスト④ 【思】TSL成果物 【思】【主】実験レポート② 授業への取り組み
	第2部 第2章 酸と塩基 ① 酸と塩基 ② 水の電離とpH ③ 酸・塩基の中和と塩	10	【知】単元テスト⑤ 【思】【主】実験レポート③ 授業への取り組み
3学期	第2部 第3章 酸化還元反応 ① 酸化含化還元 ② 酸化剂化還元利 ③ 金属の酸化還元反応 ④ 酸化還元反応と人間生活	10	【知】単元テスト⑥ 【思】TSL成果物 【思】【主】実験レポート④ 授業への取り組み
	年間まとめ	4	授業への取り組み

j	対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
	高校2年共通	理科	化学	2	選択	選択

科目の目標	物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を化学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				
	知識・技能	思考•判断•表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価の観点	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		
評価の方法	ペーパーテスト・実技(観察・実験・作図など)など ペーパーテスト・論述・レボート・発表・グループ活動・作品 実験レポートの記述・TSLの振り返り・ノート等の記の制作など 根京・実験・作図など)など ペーパーテスト・論述・レボート・発表・グループ活動・作品 実験レポートの記述・TSLの振り返り・ノート等の記 有石評価等の活用など				
教科書·教材	高等学校 化学(第一学習社)、セミナー 化学基礎 + 化学(第一学習社)				

	年間学習計画						
学期	学習内容	時数	主な評価方法				
	化学基礎履修中「序章 化学と人間生活」		授業への取り組み				
	化学基礎履修中 「第1章 物質の構成第1節 物質の成分と構成元素」 「第1章 物質の構成第2節 原子の構造と元素の周期表」		授業への取り組み レポート ①				
	第1章 物質の状態 第3節 固体の構造 ①化学結合と結晶の種類 ②金属結晶の構造 ③イオン結晶の構造 ④共有結合の結晶の構造 ⑤分子結晶の構造 ⑥非晶質	5	ペーパーテスト① (第1章・第1章 第3節)				
1学期	TSL「醤油に含まれる NaCl の量 (食塩含有量 (%)) は、醤油の色の濃さと関係があるか」		授業への取り組み 成果物				
	化学基礎履修中 「第2章 物質の変化_第1節 物質量と化学反応式」		授業への取り組み ベーバーテスト ② (第2章 第1節)				
	化学基礎履修中 「第2章 物質の変化_第2節 酸と塩基の反応」		授業への取り組み				
	化学基礎履修中 「第2章 物質の変化_第3節 酸化還元反応」		授業への取り組み ペーパーテスト ③ (第2章 第2 [~] 3節・第 II 章)				
2学期	第 II 章 物質の変化と平衡 第2節 電池・電気分解 ①電池 ②電気分解 ③電気分解の応用	9	授業への取り組みレポート②				
	TSL「反応熱に伴う熱の出入り」		授業への取り組み 成果物				
	化学基礎履修中 「終章 化学が拓く世界」		授業への取り組み				
	第1章 物質の状態 第1節 物質の状態変化 ①物質の三態とその変化 ②気体分子の熱運動と圧力 ③飽和蒸気圧と蒸気圧曲線	10	授業への取り組み ペーパーテスト ④ (第 II 章 第2節・第 I 章 第1節)				
	第1章 物質の状態 第2節 気体の性質 ①気体の法則 ②気体の状態方程式 ③理想気体と実在気体	15	授業への取り組み レポート ③				
3学期	第1章 物質の状態 第4節 溶液の性質 ①溶解と溶液 ②希薄溶液の性質 ③コロイド	15	授業への取り組み ペーパーテスト ⑤ (第1章 第2節・第1章 第4節)				
	第川章 物質の変化と平衡 第1節 化学反応と熱・光 ①化学反応とエンタルビー変化 ②へスの法則 ③結合エネルギー ④化学反応と光 ⑤エントロビー	16	授業への取り組み				

Ì	対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
	高校2年	体育	体育(男女)	1	必修	男女共習

科目の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。また、スポーツを通して粘り強くやり遂げる・自己の責任を果たす・一人一人の違いを大切にするといった態度を養う。					
	知識•技能	思考•判断•表現	主体的に学習に取り組む態度			
評価の観点	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を 身に付けるようにする。	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。			
評価の方法	ペーパーテスト・実技テスト等	ペーパーテスト・実技テスト レポート・発表等	教師による行動観察・自己評価/相互評価等			
教科書·教材	アクティブスポーツ(大修館書店)					

	年間学習計画						
学期	学習內容	時数	主な評価方法				
	オリエンテーション体つくり運動新体力テスト	2	・新体力テスト結果等				
1学期	球技1 ネット型「パドミントン」 ・基本的技能の習得とゲーム(グリップ・ストロークの理解、サービス、ラリーの組み立て) 球技2 ゴール型「サッカー」 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できるようにする。	10	・実技テスト① ・授業態度				
2学期	球技3 ネット型「バレーボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(パス、サーブ、アタック、攻撃と守備の原則の理解)	8	実技テスト②・授業態度				
	選択 ダンス ・現代的なリズムのダンス 器被運動 ・マット、跳び箱	7	・ダンス発表会・実技評価チェックシート				
3学期	球技4 ネット型「卓珠」 ・基本的技能の習得とゲーム(グリップ・スイングと構え、サービス、ラリーの組み立て)	8	実技テスト技業態度				

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年共通	体育	体育(男子)	1	必修	男女別

科目の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。また、スポーツを通して粘り強くやり遂げる・自己の責任を果たす・一人一人の違いを大切にするといった態度を養う。					
	知識•技能	思考•判断•表現	主体的に学習に取り組む態度			
評価の観点	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を 身に付けるようにする。	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。			
評価の方法	ペーパーテスト・実技テスト等	ペーパーテスト・実技テスト レポート・発表等	教師による行動観察・自己評価/相互評価等			
教科書·教材	アクティブスポーツ(大修館書店)					

	年間学習計画						
学期	学習内容	時數	主な評価方法				
	オリエンテーション 体つくり運動 新体力デスト	4	・新体力テスト結果等				
1学期	球技1/体育理論 ゴール型「ハンドボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(パスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解)	6	単元テスト①・実技テスト・授業態度				
	球技2/体育理論 ゴール型「パスケットボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(パスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解)	6	・実技テスト・授業態度・レポート				
2学期	陸上 ・走運動(短距離走、中・長距離走、リレー)	6	単元テスト②・実技テスト・技業態度				
2.7%	球技3 ゴール型「サッカー」 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できるようにする。	6	・実技テスト ・授業態度 ・レポート				
3学期	球技4/体育理論 ベースボール型「ソフトボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(打撃、捕球、送球などの用具操作、走者と連携した打撃による攻撃とその守備)	7	単元テスト③・実技テスト・授業態度				

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年共通	体育	体育(女子)	1	必修	男女別

科目の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。また、スポーツを通して粘り強くやり遂げる・自己の責任を果たす・一人一人の違いを大切にするといった態度を養う。					
	知識•技能	思考•判断•表現	主体的に学習に取り組む態度			
評価の観点	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を 身に付けるようにする。	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解 決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養 う。	生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体 力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。			
	ペーパーテスト・実技テスト等	ペーパーテスト・実枝テスト	教師による行動観察・自己評価/相互評価等			
評価の方法	↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑	レポート・発表等	教師による行鬼の教会・日 仁計 111/ 114 上計 111 守			
教科書·教材	アクティブスポーツ(大修館書店)					

	年間学習計画		
学期	学習内容	時数	主な評価方法
	オリエンテーション 体つくり運動 新体力テスト	4	・新体力テスト結果等
1学期	球技1/体育理論 ゴール型「ハンドボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(パスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解)	6	単元テスト①・実技テスト・授業態度
	球技2/体育理論 ベースボール型「ソフトボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(打撃、捕球、送球などの用具操作、走者と連携した打撃による攻撃とその守備)	6	実技テスト授業態度レポート
2学期	球技4/体育理論 ゴール型「バスケットボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(パスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解)	6	単元テスト②・実技テスト・授業態度
	陸上 ・走運動 (短距離走、中・長距離走、リレー)	6	・実技テスト ・授業態度 ・レボート
3学期	球技6 ネット型「卓球」 ・基本的技能の習得とゲーム(グリップ・スイングと構え、サービス、ラリーの組み立て)	7	単元テスト③実技テスト授業態度

j	対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
	高校2年	保健	保健	1	必修	男女共習

科目の目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向する。	けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や、	環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成	
評価の観点	知職・技能 現代社会と健康、安全な社会生活、生涯を通じる健康、健康を支える環境づりとその活用について、個人だけでなく社会生活について総合的に理解できるようにするとともに、それらの内容に関わる技能を身につける。	思考・判断・表現 健康に関わる事象や健康情報などから自他や社会の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考したり、様々な解決方法の中から適切な方法を選択するなどの判断をしたりするとともに、それらを他者に表現することができる。	主体的に学習に取り組む態度 自他の健康やそれを支える環境づくりに関心をもち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す 実践力を育てることによって、生徒が現在および将来の生活を健康で活力に満ちた明るく豊かなものにすることを目指す。	
評価の方法	ペーパーテスト・レポート 田小宮笠児姉小宮 / 上佐始ま中) 田小宮笠児姉小宮 / 上佐	ペーパーテスト・レポート・発表等	教師による行動観察・自己評価/相互評価等	
教科書・教材	現代高等保健体育(大修館書店)、現代高等保健体育ノート(大修館書店)			

	年間学習計画					
学期	学習内容	時數	主な評価方法			
	大気汚染と健康、水質汚濁、土壌汚染と健康	2	単元テスト①・ノート			
	医薬品の制度とその活用、医療サービスとその活用	3	・単元テスト② ・ノート			
1学期	探究スキルラーニング「食品の安全を守る活動」3時間 ・食品の区分けと広告のつながりについてスライド作成	3	・ノート ・スライド作成			
	保健サービスとその活用、さまざまな保健活動や対策、健康に関する環境づくりと社会参加	3	・単元テスト③ ・ノート			
	思春期と健康	3	・単元テスト④ ・ノート			
	性への関心・欲求と性行動	3	・単元テスト⑤ ・ノート			
2学期	妊娠・出産と健康、避妊法と人工妊娠中絶	4	・単元テスト⑥ ・ノート			
	環境汚染を防ぐ取り組み 探究スキルラーニング「中高年期と健康」6時間 ・高齢者に向けたストレッチ動画の作成	4	・ノート - 動画の作成			
			・単元テスト⑦ ・ノート			
3学期	結婚生活と健康 ごみの処理と上下水道の整備	3 4	・単元テスト® ・ノート			
	働くことと健康、働く人の健康づくり	3	·/-k			

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年共通	外国語	英語コミュニケーションⅡ	4	必修	習熟度別

科目の目標	英語を通じて言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。 また、英語の背景にある文化に理解を深め、世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する資質を身に付ける。さらに英語の学習を通して、他者を配慮し受け入れる寛容の精神や平和・国際貢献などの精神を獲得し、多面的思考ができるような人材を育てる。				
評価の観点	知職・技能 英語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めている。 これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に着けている。	思考・判断・表現 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、 日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や 考えなどの概要や要点、詳細を話し手や書き手の意図な どを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり 伝え合ったりしている。	主体的に学習に取り組む態度 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者を配慮しながらコミュニケーションを図ろうとし、自ちの学習を調整し、主体的に学びに向かおうとしている。		
評価の方法	単元テスト	探究スキルラーニングにおける成果物	各活動におけるリフレクション 提出物など		
教科書·教材	CAMBRIDGE EXPERIENCE 2 (ケンブリッジ大学出版局)、CAMBRIDGE EXPERIENCE 2 workbook (ケンブリッジ大学出版局)、新解説 英文法[強化]演習 Power Frame 850 (桐原書店)				

年間学習計画					
学期	学習內容	時数	主な評価方法		
	オリエンテーション	1			
	Power Frame: 時制・態・助動詞	6	単元テスト①		
	CAMBRIDGE EXPERIENCE 2:Unit 1 Friendship	7	単元テスト②		
	CAMBRIDGE EXPERIENCE 2: Unit 2 Migration	4	自己調整プリント		
	探究スキルラーニング「What is your question?」	4	成果物(ワークシート)		
	Power Frame:不定詞·動名詞	8	単元テスト③		
学期	CAMBRIDGE EXPERIENCE 2:Unit 3 Entertainment	6	自己調整プリント		
	探究スキルラーニング「吸血鬼ドラキュラは如何にして生まれたか」	4	成果物(ワークシート)		
	Power Frame:イディオム(動詞・形容詞・副詞)	6	単元テスト④		
	Power Frame:分詞·接続詞·代名詞	7	単元テスト⑤		
	CAMBRIDGE EXPERIENCE 2:Unit 4 Sports	7	単元テスト⑥		
	CAMBRIDGE EXPERIENCE 2:Unit 5 Crime	7	自己調整プリント		
	探究スキルラーニング「What happened to her bike?」	5	成果物(ワークシート)		
	Power Frame: 仮定法・関係詞	7	単元テスト⑦		
	CAMBRIDGE EXPERIENCE 2:Unit 6 Freak Weather	7	単元テスト®		
	CAMBRIDGE EXPERIENCE 2: Unit 7 Health of a Nation	6	自己調整プリント		
学期	探究スキルラーニング「Looking back positively」	5	成果物(スピーチ)		
	CAMBRIDGE EXPERIENCE 2: Unit 8 Our siciety	7	単元テスト⑨		
	Power Frame:イディオム(名詞)・前置詞と群前置詞	8	単元テスト⑩		
	CAMBRIDGE EXPERIENCE 2: Unit 9 Pure Genius!	7	単元テスト⑪		
	Power Frame: 比較·疑問と否定	7	単元テスト⑫		
	CAMBRIDGE EXPERIENCE 2: Unit 10 In The News	3	自己調整プリント		
学期	探究スキルラーニング「何を見つけた、何を感じた課題研究」	5	成果物(スピーチ)		
	Power Frame:動詞の語法・形容詞と副詞の語法・名詞と冠詞の語法・その他の文法事項	6	単元テスト⑬		

ĺ	対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
	高校2年	人文	言葉と表現	2	選択	選択

科目の目標	言葉に関する理論や観点を理解し、それを元に言葉や言語	告作品について解釈し、他者に向けて表現することで、言葉	や文化を知的に楽しみ、多様な人々に共感する力を養う。
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	表現の技法、言語間の差異、異文化と他者理解などの理 論や観点の理解を深めている。	言語の理論や観点をもとに、言葉や言語作品について解釈を行うことができる。	言葉や文化を知的に楽しみ、多様な人々に共感する力を 身につけている。
評価の観点			
評価の方法	ベーパーテストなど	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グルーブ活動・作品 の制作など	/一ト等の記述·授業中の発言・教師による行動観察・生 徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書·教材	なし		

	年間学習計画					
学期	学習內容	時數	主な評価方法			
	ガイダンス(言語で演じてみよう)	1				
	【①表現の技法】「英語演劇しよう」	10				
	演劇論について学び、英語で会話劇を演じる					
	【③異文化と他者理解】「やさしい日本語を活用し異文化との出会いを演じる」	11				
	日本に住む外国語話者に向けたやさしい日本語について学び、実際に活用した演劇を演じる。					
1学期						
	ガイダンス(作品を詳しく分析してみよう)	1				
	【③異文化と他者理解】「作品とコンテクスト」	10				
	時代背景を知り、作品を分析する。					
	【② 言語間の差異】「○○ってどう訳す?」	8				
	単語を日英両方から見ていく。					
	【③異文化と他者理解】「絵本から見える異文化」(学校図書館活用)	10				
- 20.4 11111	図書館で集めた資料をもとに作品分析をし、異学年に対して授業を実施する。					
2学期	[①表現の技法]「世界はメタファーでできている」	4				
	メタファーなどのレトリックを学び、実際の表現に使う。また、認知言語学の知見から、メタファーを見ていく。					
		1				
	ガイダンス(言葉で自分の思いを表現しよう)	4				
	【①表現の技法】「世界はメタファーでできている」(続き)	4				
3学期	メタファーなどのレトリックを学び、実際の表現に使う。また、認知言語学の知見から、メタファーを見ていく。	10				
0-1-791	【②言語間の差異】「ラップ文化から紐解く英語と日本語~反骨精神を言葉に乗せて~」	10				
	日英の韻の文化を比較し、音韻的にも心地よい翻訳を考える					

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年共通	総合的な探究の時間	探究V	2	必修	学年

科目の目標	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次の通り育成する。 (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、課題研究に取り組むことの意義や価値を理解する。 (2) 「好きなこと」「得意なこと」「自身の価値観」「社会から求められること」をもとに課題研究のテーマを設定し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになる。 (3) 探究に主体的に取り組むとともに、自ら外部のリソースを活用するなど、他者と協働しながらよりよい成果物を作れるようになる。				
評価の観点	知識・技能 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及 び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、課題研 究に取り組むことの意義や価値を理解できたか。	思考・判断・表現 「好きなこと」「得意なこと」「自身の価値観」「社会から求められること」をもとに課題研究のテーマを設定し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになったか。	主体的に学習に取り組む態度 探究に主体的に取り組むとともに、自ら外部のリソースを活用するなど、他者と協働しながらよりよい成果物を作ることができたか。		
評価の方法	探究活動の成果物(アイデアの試作品や発表会の内容)と	成果物作成までの過程(チームでの取り組み状況等)から総	合的に評価する。		
教科書·教材	学びの技(玉川大学出版部)				

	年間学習計画		
学期	学習内容	時数	主な評価方法
	課題研究ガイダンス	2	
	テーマ設定(「好き」・「得意」・「価値観」・「社会から求められること」を考える)	4	
	テーマ設定(「好き」・「得意」・「価値観」・「社会から求められること」を考える)		
	テーマ設定(周辺領域の情報を調べる)	4	
	テーマ設定(周辺領域の情報を調べる)		
	テーマ設定(具体的な課題と課題解決のアプローチを考える)	4	
1学期	テーマ設定(具体的な課題と課題解決のアプローチを考える)		
	研究計画	4	
	研究計画		
	中間発表準備	2	
	中間発表会①	2	
	データ収集・プロトタイプ作成	16	
	データ収集・プロトタイプ作成		
	中間発表準備	2	
2学期	中間発表会②	2	
	データ分析・テスト	8	
	データ分析・テスト		
	データ分析・テスト		
	データ分析・テスト		
	研究のまとめ・要旨作成	4	
	研究のまとめ・要旨作成		
	中間発表会③(校内)	2	
	発表資料作成	4	
	発表準備·練習	4	
3学期		†	
	青開学会 (探究活動成果発表会)	終日	
	青開学会振り返り	2	
	1年間の振り返り	2	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年	家庭	家庭基礎	2	必修	ホームルーム

科目の目標	生活を主体的に営むために、実践的・体験的な学習活動を とする能力や実践的な態度を育てる。	が過して、さまざまな人びとと協働し、よりよい社会の構築に向	けて男女が協力しながら、家庭や地域の生活向上を図ろう
評価の観点	知職・技能 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境 などの基礎的なことについて理解しているとともにそれらに かかる技能を身につけている。	思考・判断・表現 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想、実践、考察、論理的に表現するなどの力を身につけている。	主体的に学習に取り組む態度 さまざまな人と協働し、よりよい社会の構築に向けて課題 の解決に主体的に取り組もうとしている。自分や家庭、地 域の生活を創造し、実践しようとしている。
評価の方法	ペーパーテスト・実習・提出物など	ベーパーテスト・作品製作・提出物など	授業態度・授業中の発言・課題提出など
教科書・教材	家庭基礎 自立・共生・創造(東京書籍)		,

	年間学習計画		
学期	学習内容	時数	主な評価方法
	家庭科オリエンテーション	1	
	第1章 生涯を見通す	2	提出物
	第2章 人生をつくる	5	実技·実習
	第3章 子どもとともに育つ	6	授業への取り組み
1学期	第9章 経済生活を営む	6	
			ペーパーテスト①
	第4章 超高齢社会を共に生きる	6	
	第6章食生活をつくる	16	
	食生活の課題	10	 提出物
	食事と栄養		менти
	調理の基礎・実習		実技・実習
	これからの食生活		
			授業への取り組み
2学期	第7章 衣生活をつくる	14	
	被服の入手・管理		ペーパーテスト②
	製作実習		
	これからの衣生活		
		_	
	第8章 住生活をつくる	6	提出物
	第5章 共に生き、共に支える	4	実技·実習
3学期			
	第10章 持続可能な生活を営む	2	授業への取り組み
	第11章 これからの生活を創造する	2	ペーパーテスト③